

コーセーとベネッセ、小学生向け探究学習教材を共同開発 サンゴにまつわる海の環境課題や企業の保全活動を題材に、 ICT 学習ソフト「ミライシード」で配信開始

～9 月 15 日に沖縄の小学校で公開授業を開催～

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中 慎二）と、株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：岩瀬 大輔、以下：ベネッセ）は、持続可能な未来に向けたアクションを“自分事”として考える「環境教育」の推進に向け、サンゴの白化現象等の海の環境課題や、企業の保全活動を題材とした、小学生向けの探究学習教材を共同開発しました。本教材は、ベネッセの小中学生向け ICT*学習ソフト「ミライシード」にて、9 月 24 日に配信を開始します。本教材の配信に先駆け、2026 年 9 月 15 日、沖縄県豊見城市立とよみ小学校にて公開授業を開催しました。

【教材ダウンロードページ】<https://x.gd/5dehL>

※「ICT」：「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略



取り組みの背景

コーセーグループは、環境戦略の軸に「水」を据え、豊かな水をたたえる海洋環境をはじめとする様々な課題に向き合っています。その取り組みの一つとして、スキンケアブランド『雪肌精』では 2009 年より、売上の一部を活用して、サンゴ再生事業者の有限会社「海の種（代表：金城 浩二 所在地：沖縄県読谷村）」と共に、沖縄県読谷村の海に高温耐性をもったサンゴを育成・移植する保全活動「SAVE the BLUE Ocean Project」を続けてきました。この活動では、保全だけでなく当社の社員やお取引先の皆さまに対し、サンゴや海の保全活動の重要性を知ってもらう「サンゴ留学」を実施し、啓発の環を広げています。

一方で、海に囲まれた沖縄県では「海洋教育」を重要な学習領域として位置づけ、体験学習などを推進しているものの、現在の学びは知識の習得や理解にとどまっており、社会課題との自身のつながりを捉え、自らの行動につなげるまでには至っていないという課題があります。こうした背景を受け、当社の環境保全活動を通じて培った知見と、ベネッセの ICT 学習インフラを掛け合わせることで、次世代を担う子どもたちが持続可能な社会に向けて主体的に行動できる力を育むことを目指し、新たな探究学習教材を共同開発しました。

教材概要

本教材は、高学年の理科の授業での活用を想定した全 2 時間の探究学習教材です。私たちの暮らしを支える「水」を起点に、水と海、生き物、人の暮らしとのつながりを学び、環境を守るための企業の取り組みについて理解を深めます。単に知識を得るだけでなく、子どもたち自身が疑問や関心から問いを立て、調べ、友だちと考えを共有しながら、学んだことを自分の生活と結び付け、具体的な行動へつなげることを目指しています。

【1 時間目】 水・海・サンゴと私たちの暮らしのつながりを知る

地球上を循環する水が、生き物や私たちの暮らしを支え、川から海へとつながっていることを学びます。さらに、海の生態系や人々の暮らしを支えるサンゴの役割や、海水温の上昇による白化現象について理解を深めます。また、コーセーの商品づくりがどのように自然の恵みと関わっているかや、2009 年から続けている環境保全活動「SAVE the BLUE Ocean Project」、高水温に耐えられるサンゴの研究事例などを学び、「もっと知りたい」「調べてみたい」という問いにつなげます。

【2 時間目】 自ら問いを立て、調べ、できることを考える

1 時間目で生まれた疑問や関心をもとに、水や海、サンゴなどについて一人ひとりが問いを設定し、ICT を活用して調べ学習を行います。友だちと調べた内容や考えを共有し、異なる視点に触れながら理解を深めるとともに、企業の環境保全の取り組みをヒントに、環境課題の解決に向けて自分たちにできる具体的なアクションを考えます。

「水」はめぐり、「海」へつながる

水は川から海へとつながり、海の豊かな自然も支えている。



きれいな水を守っていくことは、海でくらす生き物を守ることにつながる！

海の生き物を守るサンゴ

サンゴは植物ではなく、**動物！**

サンゴのすき間は、小さな魚たちが敵から身を隠す家



💡 サンゴがあることで、多様な生き物が集まる豊かな海が作られている！

化粧品づくりと「水」

多くの水が使われ、植物から取り出した成分が含まれる！

自然のめぐみをたくさん受け取っている企業として、大切な自然を守るためにできることは…？



↓

水や海を守る活動を行い、地球に恩返しをしている



「海」を守る活動

SAVE the BLUE Ocean Project

『雪肌精』の対象商品を購入すると、その商品の底面積分の「高温耐性をもったサンゴの森」が沖縄県読谷村地域の海へ広がる。※キャンペーン期間中

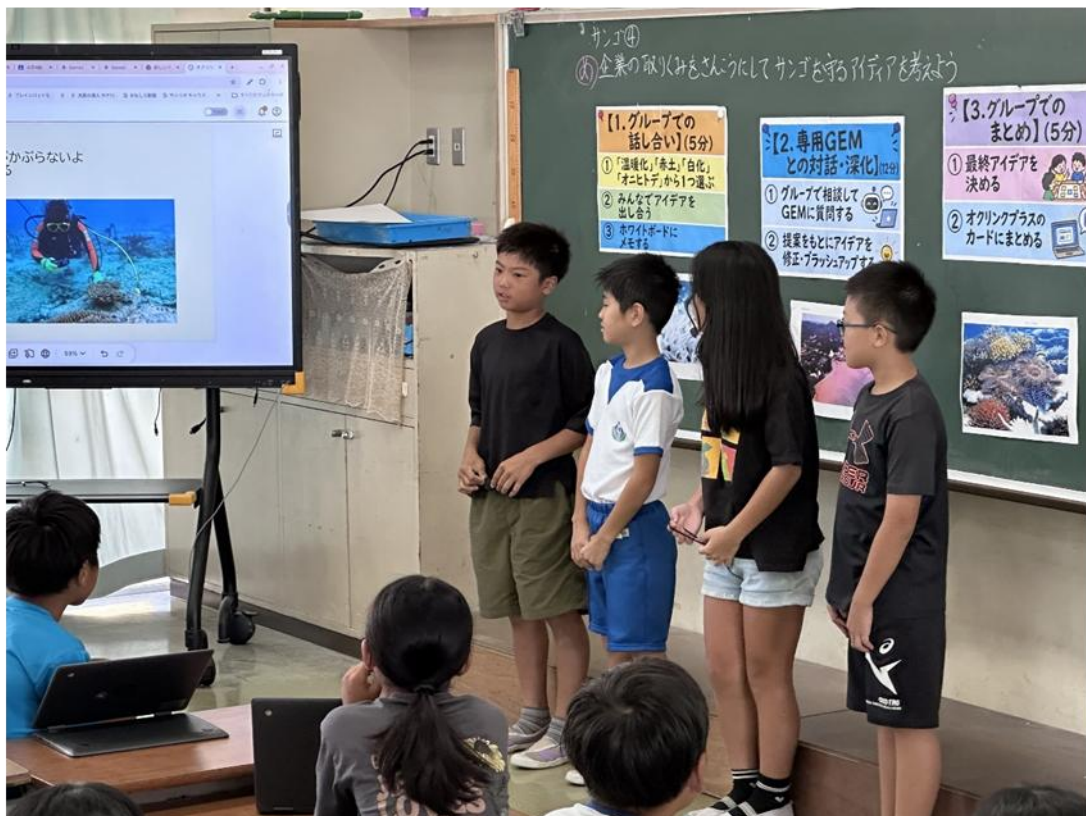


あなたが美しくなると、地球も美しくなる。

SAVE the BLUE

公開授業

2026 年 9 月 15 日 (火)、豊見城市立とよみ小学校 4 年生 (2クラスで50名) に向けて、本教材を用いた公開授業を行いました。企業の具体的なサンゴ保全活動の歩みに熱心に耳を傾ける児童たちからは、「知らなかった」といった驚きの声が上がりました。後半のワークでは、タブレット端末を使ってそれぞれの考えをスムーズに共有し、「自分たちにできること」を主体的に模索し、教室全体が活発な議論の熱気に包まれました。



■メッセージアート「私たちの SAVE the BLUE Ocean Project」の制作

授業の総括として、児童一人ひとりが考えた環境保全へのアクションを、『雪肌精』の化粧水のボトルをかたどった青いカードに書き込み、教室に用意された「白化したサンゴが描かれた大きな絵」に飾り付けました。子どもたちの手によって次々とカードが貼られ、白化したサンゴの海が自分たちの行動によって再び美しく豊かな海へと戻っていくことへの願いを込めた、全員の思いが詰まった色鮮やかな一つのアート作品が完成しました。



■ 参加した児童のコメント

「サンゴが海のリーダーだと知り、赤土の流出やオニヒトデの被害を受けていると分かって驚きました。自分たちに何ができるか話し合い、植物を植えて土を固めることや、ゴミを捨てないなどのアイデアが出ました。サンゴが増えて観光客でにぎわう、いまよりもっときれいな沖縄の海になってほしいです。」

■ 参加した担当教員のコメント

「授業の初めは『サンゴってきれい』という程度の感想だった児童たちが、直面する課題を知ることで、自分たちに何ができるのか意欲的にアイデアを考えるようになり、その変化を嬉しく思いました。また、ミライシードを活用したことで意見の共有や可視化ができ、普段は発表が少ない児童も積極的に意見を出せました。“いいね”やコメントを送り合えるなど、ツールが活発な学び合いを後押ししてくれました。」

今後の展望

コーセーグループは今後も、長年の環境保全活動を通じて培ってきた知見を次世代へとつなぐとともに、教育機関や地域、さまざまなパートナーとの協働を通じて、子どもたちが環境課題を自分事として捉え、行動するきっかけとなる環境教育の機会を創出していきます。こうした活動を積み重ねることで、豊かな水環境や生物多様性を未来へつなぎ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ 「SAVE the BLUE Ocean Project」について

スキんケアブランド『雪肌精』における期間中の売上の一部を活用し、沖縄県読谷村の海にサンゴを育成・移植する活動です。2009 年から活動を開始し、これまでに植え付けたサンゴは約 1 万 3,000 m² (25m 公認プール約 35 面分)を超えています。

・「SAVE the BLUE Ocean Project」サイト:<https://sekkisei.jp/savetheblue/index.html>

■ ミライシードについて

ミライシードは、ベネッセが提供する小中学校向け ICT 学習ソフトです。一斉学習・協働学習・個別学習それぞれの学習場面に対応した機能が 1 つのソフトに統合されており、AIドリルや意見共有ツールで個別最適な指導や、協働的・対話的な授業実践を支援します。2026 年 4 月現在、政令指定都市の 7 割で導入されており、全国約 12,000 校・410 万人以上の児童・生徒に活用されています。

・「ミライシード」サイト:<https://x.gd/h3fRI>